

今年全日本リレーは茨城！ 最高のビールを求めて

第12回全日本リレーオリエンテリング選手権大会は、11月23日（日）に茨城県那珂町で開催されます。那珂町はインターナショナルビアサミットやワールドビアカップなど世界の賞を総なめにした、「常陸野ネストビール」のブルワリーがあるところ。3連休なので、前後の日に醸造体験コースにも参加できます。おいしいビールを飲むためにも、ぜひ全日本リレーにお越し下さい。

茨城県で開催されるJOA主催/公認大会は1992年の東日本大会以来で、今回が4回目です。11年振りのJOA主催大会開催ということで、これまでの茨城でのJOA主催大会とはかなり異なる体制で準備が進んでいます。今回特筆すべきは、茨城在住の競技オリエンティアが企画段階から運営に協力していることでしょう。地図調査を競技オリエンティア主体で行っているのがその象徴です。1次調査はときわ走林会を主力として、茨城県協会、つくばROCおよび筑波大OL愛好会のメンバーを加えて昨年9月から実施し、3月に終了しました。すでに第1回試走会も終了し、現在は2次調査を行っています。またコース設定責任者にはSQUADの藤井範久氏を起用。現時点ですでに過去の茨城の公認大会の中では最高の精度の地図、最高に練られたコースとなっています。

このように、今度の全日本リレーは過去の茨城での公認大会とはまた違った体制で準備が進んでいます。かつて「平成4年度東日本オリエンテリング大会」で痛い目にあった人もそうでない人も、今年全日本リレーにぜひお越し下さい。そして走り終わった後は、美味しいビールで乾杯しましょう。

県民の森ってどんなところ？

今大会のテレインは、那珂町の県民の森周辺に求めました。県民の森は緩やかな丘陵地に作られた森林公園で、森林公園周辺にも林が広がっています。ゆるやかな起伏、適度に複雑な地形、適度な植生、使いやすい会場施設、とまさにオリエンテリングには理想的な環境です。それゆえ早くからテレインとして開発され、1970年代前半にはすでに茨城大学（！）が簡単なO-Mapを作成しています。その後1978年に水戸OLCが植生の入った本格的O-Map「県民の森」を作成し、常陸大子で開催された第4回全日本大会のトレーニングコースとして使用しました。そして1985年に筑波大OL愛好会が森林公園周辺の広大なエリアを「古徳沼」としてO-Map化し、第8回筑波大会を開催しました。県外から参加者を集めるような大きな大会はそれ以降開催されていませんが、小さな大会はそれからあらゆる団体の手によって毎年最低一回は開催されています。現在は1993年に筑波大OL愛好会が作成した「那珂川」および茨城県協会が作成したパーマナントマップが使用されています。

このように県民の森は茨城のオリエンティアにとって、聖地ともいえる場所です。しかしこのテレインには意外な弱点がありました。そのせいで聖地としてのイメージは薄れ、リメイクもしばらく途絶えていました。それが逆に幸いして、このように良質なテレインを全日本リレーまで取っておくことができた訳ですが、ではその弱点とは？

1993年にリメイクされた「那珂川」は、このテレインの使用法をそれ以前から大きく変えてしまいました。山林の微地形地帯に白い植生が増えた一方で、公園内の植生が全体的にグリーンになってしまった

のです。コースは当然植生のいいところを中心に組まれますから、会場となる場所も変わり、テレインのメイン部分の大移動が起きました。その結果、それまで公園を中心とする誰でも楽しめるテレインだったのが、山林を中心とする玄人好みのテレインになってしまったのです。そこはすでにオリエンティアにとっては聖地でもなんでもなし、普通のテレインにすぎませんでした。

県民の森は公園なので当然ながら公共の土地ですが、実は周辺部の山林もかなりの部分が県有林です。このような林は一般的山林とは別の理由で植生が変わります。すなわち、手入れのための予算が付くか付かないかです。そのためそれ以前からも度々植生の大転換が起こり、比較的早く地図の陳腐化が進むという弱みを抱えていました。そして「那珂川」は、不幸にも最も植生の悪い時期に調査されてしまったのです。緑に塗りたくられた林なんか、誰も使いたくありません。いつでも簡単にオリエンテリングが楽しめる県民の森の存在は、こうしていつしか忘れ去られていきました。

過去最高の植生！

昨年春、「那珂川」を使った最後のイベントが開催されました。そしてレース終了後、全日本リレーテレイン探索部隊の一行は、再度密かに「那珂川」に立ち入りました。その日のイベントでは使われなかった、それどころかもう何年も使われたことのないグリーンのエリアへ……。そこには茨城にあるまじき光景が広がっていました。

植生の良いテレインなら、茨城県内にもいくつか存在します。しかしそれらはすべて県北の山岳地帯にあり、急峻であるという共通した欠点を抱えていました。体力のない人でも林の中を走ることを楽しめる、

緩やかで真っ白なトレイン。それを茨城に住む僕らはどれだけ待ち望んでいたのか！それが今、まさしく目の前にありました。

「これってパーマの地図！？」1次調査終了後、とある調査者から提出された OCAD ファイルを開いたマッパーの第一声です。そしてそのような真っ白なファイルはひとつだけではなく、その後次々とマッパーの元に送られてきました。そしてすべての調査者のファイルが結合されたとき、僕らはようやく現実を認識することができたのです。あの日見たあの光景は、夢ではなかった...

なお、この植生の良さは宮本武蔵のおかげだという説があります。実はこの林は NHK 大河ドラマのロケ地に使われているのです。そのため茨城県があわてて草刈りを行ったとか。話の真偽は定かではありませんが、ここまで不自然に白い林を見ていると、それもなんだか本当のように思えてきます。ありがとう、宮本武蔵。

聖地復活

生まれ変わった県民の森では、現在着々と二次調査が進められています。全日本リレー当日には、きっと競技者のみなさんにも満足してもらえる地図とコースが提供されると思います。だけど私たちはこのトレインを、競技者のためだけの物にするつもりはありません。ここまで便利で、歩いて気持ちよく、子供にも安心な山林はそうそうあるものではありません。だからこそ、ここでパーマの地図を使った初心者向けの大会が毎年開かれてきたわけです。

そこで茨城県オリエンテリング協会では、全日本リレーに初心者向けの大会を併設することにしました。若い人も、経験のある人もない人も、誰でも楽しむことができる。それがオリエンテリング本来の姿のはずです。過去の全日本リレーではそのような視点が欠けていました。もちろん「リレー大会なのだから初心者は排除すべきだ」

という意見もあります。JOAにもそういわれました。しかしそのような姿勢が、現在のオリエンテリング人口の減少を招いた一因になっていると私たちは考えます。

今回の試みは、ある意味賭です。大きな大会の運営に慣れているとは言えない茨城県協会に、リレーと初心者イベントの融合などということが本当にできるのか？ できたとしても、それが初心者にとって良いことだったと言えるのかどうか。正直、困難だと思います。しかしそれをやって初めて、オリエンテリング本来の姿に戻れる。それでようやく「聖地復活」と言える。そのように考えます。

参加に当たっての注意

全日本リレーの参加クラスは、県協会が選手を選抜して申込をする都道府県対抗クラスと、誰でも参加できる一般クラスの大きく二つに別れます。そのうち都道府県対抗クラスに出るためには、県代表選手として県協会に認定される必要があります。基本的に在住する県からの参加となりますが、学生の場合は出身県からの参加も可能となっています。また、まだ正式発表されていませんが、所属クラブ所在地からの参加も認められます。代表選手の選抜方法に関しては、各県協会にお問い合わせ下さい。

もうひとつ、都道府県対抗クラスに参加するためには県協会への競技者登録が必須となります。来年度以降は競技者登録をした県からしか代表で出られなくなりますが、今年は移行期間ということで、登録した県以外の都道府県からの参加も認められます。ただこれも県協会によって方針が異なる場合があるので、参加を考えている方はとにかくまず代表として出場したい県協会にお問い合わせ下さい。

第12回全日本リレーオリエンテリング選手権大会の公式ホームページでは、各県協会の競技者登録方法や選手選考方法についての情報を集めています。興味のある方は一度ごらんになって下さい、また、

そのような情報をお持ちの方はぜひホームページに情報をお寄せ下さい。ホームページに掲載し、選手発掘の一助としたいと思います。また代表選手決定後は、監督にチーム紹介してもらったり、意気込みなどをインタビューして載せたいとも思っています。

その他今年の全日本リレーでは、「女子ベテランクラスの新設（45歳以上の女性）」「男子クラスへの女子の参加を認める」「近隣の都道府県の合同チームの参加を認める」といったルール上の改正点があるという話です。これら細かいルールもはっきりしたことが分かり次第ホームページ上にて公表しますが、まずは JOA の正式発表をお待ち下さい。

全日本リレー開催まであと140日余り。それほど長い時間ではありませんが、これから精一杯準備していきます。いつもとちょっと違う全日本リレー選手権大会をどうぞお楽しみに。

第12回全日本リレーオリエンテリング選手権大会公式ホームページ

<http://www.orienteering.com/~o-map/jroc2003/>

常陸野ネストビール（木内酒造）ホームページ

http://kodawari.cc/japanese/top/top_japanese1.htm



「那珂川」の一部。茨城らしからぬ緩斜面。もしこの斜面がすべてスーパーAだとしたら...